

2026年度第2回理事会議案書

日 時： 2026年10月22日（木）13:00~16:00 Web 会議

司 会 高木副会長

開会宣言
会長挨拶
出席者確認
議長選出（司会より指名）
議長
議事録作成人および署名人指名（議長より指名）
議事録作成者
議事録確認者

山口副会長
中澤会長
高木副会長（司会）

中澤会長

事務局 村瀬
唐澤支部長
三輪委員長

審 議 事 項

- | | | |
|--------------------|------|------------|
| 1. 熊本地震における義援金について | P1 | 中澤会長 |
| 2. 長野県防災セミナー協賛金の件 | P2-4 | 中澤会長 桐島副会長 |
| 3. その他 | | |

報告・確認・協議事項

- | | | |
|----------------------------------|--------|-------------|
| 1. 日本代協関連事項報告 | P5-7 | 中澤会長 |
| 2. 第2回ブロック協議会報告 | P8-9 | 駒津常務 |
| 3. 上半期決算概況報告の件 | P10 | 事務局 |
| 4. 利益相反管理について | P11-13 | 中澤会長 |
| 5. 日本代協コンベンション 参加者について | | 中澤会長 |
| 6. 各支部活動報告 | P14 | 各支部長 |
| 7. 各委員会活動報告 | P15 | 各委員長 |
| 8. 支部の活性化について | | 中澤会長 月岡常務 |
| 9. 東北信合同セミナーについて | P16-17 | 湯本支部長 深井支部長 |
| 10. 伊那飯田合同セミナーについて | P18 | 唐澤支部長 春原支部長 |
| 10. ジギョケイセミナーについて | P19 | 三輪委員長 |
| 11. 2027年度定時総会について | P20-27 | 唐澤支部長 |
| 12. 令和8年度信州地震等災害保険・共済加入促進協議会総会報告 | P28-30 | 駒津常務 |
| 13. 令和8年度長野県自転車活用推進計画ネットワーク会議報告 | P31 | 高木副会長 |
| 14. 長野県自動車盗難等防止対策連絡会 報告 | P32-35 | 上林副会長 |
| 15. 事務局連絡（今後のスケジュール他） | P36 | 事務局 |
| 16. 支部・委員会 成功事例、悩み、意見等 | | 中澤会長 |
| 17. その他 | | |

顧問コメント
監事講評
閉会の言葉

片桐顧問
大久保監事
朝倉副会長

以上

（仲間づくり推進表、提携事業収入一覧）と上記以外の参考資料（日本代協総会資料、全国会長懇談会資料）などは長野代協ホームページに掲載しました。

<https://www.nagano-daikyo.jp/members/director>

（会員の皆様へ → 理事会 → 理事会資料はこちらから）

I D : member PW : 31403140

2026年度 第2回 理事会参加者

	役 職	氏 名	出 欠
1	会 長	中澤 純一	○
2	常務理事	駒津 政伯	○
3	常務理事（事業見直し委員長）	月岡 信	○
4	専務理事（事務局長）	村瀬 進	○
5	副会長	上林 義信	○
6	副会長（組織委員長）	山口 哲也	○
7	副会長	桐島 航平	○
8	副会長	高木 守	○
9	副会長（総務広報委員長）	朝倉 敏文	○
10	副会長	角野 貴弘	○
11	北信支部長	湯本 浩行	○
12	東信支部長	深井 功亮	○
13	中信支部長	八木 弘雄	○
14	諏訪支部長	曾根原雄二	×
15	伊那支部長	唐澤 勇治	○
16	飯田支部長	春原 清	○
17	教育委員長	竹内 郁子	○
18	企画環境委員長	三輪 芳彦	○
19	C S R委員長	志摩 拓海	○
	理事19名 / 18名		
20	監事	大久保照子	○
21	監事	宮澤 弘樹	○
22	監事	古畑 克彦	×
23	顧問	片桐 幸広	○
	監事2名 顧問1名		
合計 21名			
事務局 竹内 （合計22名）			

長野県損害保険代理業協会
会長 中澤 純一

令和８年 熊本地震における義援金について

この度の令和８年 熊本地震により、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまにお見舞いを申し上げます。

長野代協として、事務所や自宅などに大きな被害が発生し、自らも被災されながら契約者のために必死に努力されている代協会員のために熊本代協に義援金を以下の通りお届けする。

長野代協会計より拠出 100,000 円（会員 200 名×500 円）

令和8年10月22日

長野代協理事 各位

長野代協会長 中澤 純一

副会長 桐島 航平

防災セミナーin 上田への協賛金支出について

日本損害保険協会 関東支部 長野損保会の主催により開催される、「防災セミナーin 上田」において、共催団体として協賛金の拠出をお願いしたい。

協賛金の使途としては、信濃毎日新聞(12月下旬)への開催情報の掲載費用として使用され、拠出金額としては約12万円前後(掲載代とデザイン代)をお願いしたい。

日代協へセミナー費(10万円)として申請可能であり、認可となれば、上記金額との差額の拠出をお願いしたい。

「防災セミナーin 上田」

～地震・火山・風水害を学び備えの知識を深めよう～開催概要

開催日時：令和9年1月30日(土) 14:00～16:00 4部構成

開催場所：サントミュージゼ小ホール 上田市天神3-15-15

開催内容：第1部 長野(東信地域)の自然災害に備える

講師：^{ひろうち だいすけ} 廣内 大助 氏(信州大学 教育学部 防災教育センター長、
地域防災減災センター防災減災教育部門長)

第2部 長野県の防災への取り組み

講師：長野県 危機管理防災課 課長

第3部 上田市の防災への取り組み

講師：上田市 危機管理防災課 課長

第4部 自然災害に備える損害保険について

講師：日本損害保険協会 長野損保会

開催定員：定員200名(参加無料)

主 催：上田市 日本損害保険協会関東支部 長野損保会

共 催：長野県 信州大学教育学部防災教育研究センター

信州地震等災害保険・共済加入促進協議会 長野県損害保険代理業協会

後 援：NHK長野放送局 信濃毎日新聞社

以上

防災

セミナー in上田



地震・火山・風水害を学び
備えの知識を深めよう！

第1部 長野（東信地域）の自然災害に備える

🌸 講師：廣内 大助 氏 信州大学 教育学部 防災教育研究センター長
地域防災減災センター 防災減災教育部門長

第2部 長野県の防災への取り組み

🌸 講師：長野県 危機管理防災課 課長

第3部 上田市の防災への取り組み

🌸 講師：上田市 危機管理防災課 課長

第4部 自然災害に備える損害保険について

🌸 講師：日本損害保険協会 長野損保会



上部画像

- 左上
台風19号発生時の千曲川
- 右上
活断層（県内）
- 下
上田市を望むパノラマ画像

🌸 防災セミナーin上田について

令和6年能登半島地震から約3年、令和8年は熊本地震で震度7の地震が発生しました。上田市では、善光寺地震や上田地震など、過去に大きな地震被害を経験してきました。糸魚川・静岡構造線断層帯地震では震度7も想定されており注意が必要です。

また、水害については、令和元年東日本台風（台風第19号）では千曲川の増水により市内が浸水して大きな被害が発生しました。千曲川の氾濫は歴史的に繰り返されており、水害への備えもとても大切です。本セミナーでは、地震や風水害の特徴、日頃の備えや避難行動のポイントについて専門家が分かりやすく解説します。災害から自分や家族の命を守るため、この機会に防災について学びましょう。

2027年

1/30_土

14～16時 4部構成

@サントミュージゼ小ホール
上田駅より徒歩7分

ご参加 無料 定員 200名様

ご予約詳細は裏面を
ご覧ください。

主 催： 上田市、日本損害保険協会関東支部 長野損保会
共 催： 長野県、信州大学教育学部防災教育研究センター、
信州地震等災害保険・共済加入促進協議会、
長野県損害保険代理業協会

後 援（予定）：NHK長野放送局、信濃毎日新聞社

防災⁴セミナー in上田

お申し込み

防災セミナーin上田への参加お申込は、
以下4通りの中からお選びください。

個人情報の取り扱い：本セミナーのご出席者の管理、変更・中止等にかかる案内、関連情報のお知らせと、当支部が2027年3月までに開催するセミナー・講演会のご案内において、個人情報を取得させていただきます。



オンラインフォームの場合 <ながの電子申請サービス(上田市)>

https://apply.e-tumo.jp/city-ueda-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=78448

上記URLにアクセスしていただき、フォームよりお申込みください。

右のQRコードからもアクセス可能です。※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



電話の場合

03-3255-1450

日本損害保険協会・関東支部
お問合せもこちらで承ります。



メールの場合

kanto@sonpo.or.jp

件名に「防災セミナーin長野」本文に①氏名②
メールアドレス③電話番号をご記入ください。



Faxの場合

03-3255-1238 書ききれない場合は、別の用紙もお使いください。

お名前(法人の方は法人名も)

お電話番号

ご住所

1

2

3

会場のご案内



サントミュージゼ小ホール
上田市天神3丁目15-15
santomyuze.com/

【お車で】

上信越自動車道「上田菅平I.C.」から約15分
※駐車場台数 390台

【電車で】

北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線
「上田駅」から徒歩 約7分。



サントミュージゼ



日本代協 第4回・第5回理事会 主要内容について

日本代協で開催された2026年度第4回・第5回理事会について、会員の皆さまに関係する主要内容をお知らせします。

■ 第4回理事会（2026年7月10日）

1. 日本代協アカデミーの今後について

現在の日本代協アカデミーについて、eラーニング機能および受講履歴管理機能を2027年3月末で終了することが決定されました。これは日本代協が教育事業から撤退するものではなく、現在の仕組みを見直し、今後の教育支援を再構築するためのものです。

今後は、これまで蓄積してきた教育コンテンツを可能な限り継承しながら、全会員向けの新たな教育支援プラットフォーム、アーカイブ動画、経営相談室の情報、コンベンション分科会動画ワンポイントレッスン、教育実施状況を確認・記録できる仕組みなどについて検討していく方向です。特に、自己点検等において教育実施の証跡が必要となることから、中小代理店を含めた受講記録・教育履歴管理への支援についても課題として認識されています。

2. 仲間づくり（会員増強）について

6月末時点の全国の会員数は10,400会員。代理店再編等による会員数減少も踏まえ、2027年度以降の仲間づくりの目標や表彰制度のあり方について、引き続き検討していくこととなりました。

3. 損害保険大学課程について

コンサルティングコースの教育カリキュラムについて、2028年度的大幅改訂に向けた具体的な検討が進められています。

■ 第5回理事会（2026年9月18日）

1. 2026年度「功労者表彰」について

2026年度の功労者表彰者10名が決定し、長野県代協から内堀敏高氏が選出されました。各候補者について、代協活動への具体的な功績等を確認したうえで承認されています。

2. 2027 年度コンサルティングコース受講者募集について

2027 年 4 月開講のコンサルティングコースについて、日本代協全体で 840 名を自主目標として受講者募集を進めることが決定されました。

なお、今回から募集ツールについては紙資料が廃止され、PDF 等の電子データのみでの提供となります。各代協においても、募集人の資質向上に向けた受講勧奨を進めていくこととなります。

3. 熊本地震への支援について

令和 8 年熊本地震への支援として、全国の各代協から「支援金」を募り、日本代協が取りまとめて熊本県代協へ届けることが決定されました。

支援金の具体的な活用方法・配分については熊本県代協に一任し、被災会員・代理店・地域支援など、用途を限定せず活用されます。受付は 2026 年 12 月末までとし、2027 年 1 月末を目途に熊本県代協へ届ける予定です。

4. 日本代協コンベンションについて

第 15 回日本代協コンベンションの運営について審議され、懇親会で実施する募金についても、熊本地震支援のための**「日本代協支援金受付口」へ送る**ことが決定されました。

また、来賓挨拶は金融庁 資産運用・保険監督局 保険課長の齋藤豊氏、パネルディスカッションには錦野監事、金澤専務、大和理事が登壇する予定です。

5. 代理店賠償責任保険について

代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」は、9 月 17 日時点で 8,919 件の手続きが完了していることが報告されました。

併せて、Chubb 社が FAX 送信サービスで利用していた日本テレネットのサーバーが不正アクセスを受け、2016～2018 年に提供した一部の情報について漏えいの可能性があることが報告されました。対象者への対応については Chubb 社および日本テレネットが行うこととされています。

6. 代理店を取り巻く環境について

自己点検チェックや保険会社との対話が本格化する中、日本代協としては、これらを単なる負担として捉えるのではなく、「経営品質の向上」「経営力の強化」「専門性・業務品質の向

上」につなげる機会としていくとの考えが示されました。

また、比較推奨販売への対応についても議論され、保険会社任せではなく、代理店自身の経営判断・態勢整備に関わる課題として取り組む必要性が指摘されています。

2026 年度第2回上信越ブロック協議会報告

常務理事 駒津 政伯

標題の件について、下記の通り報告致します。

1. 日時 : 2026 年9月25日(金) 14:00 ~ 16:00
2. 場所 : 群馬県勤労福祉センター 2F 第4会議室
3. 長野代協参加者
: 中澤 純一・駒津 政伯・山口 哲也・桐島 航平・高木 守・竹内 郁子
三輪 芳彦・志摩 拓海・月岡 信(オブザーバー参加) 以上9名(敬称略)
4. 【審議事項】
1. なし
5. 【報告・連絡事項】
1. 日本代協の課題及び今年度活動方針
2. 各県代協における現状と課題
3. 各委員会における現状と課題
4. 2026年度公開セミナー申込状況
5. その他
: 利益相反管理について

上記項目につき、それぞれ報告が行われた。

日本代協の課題及び今年度活動方針については、佐々木副会長(日本代協)より説明がなされた。(詳細は中澤会長報告と重複するので割愛)

各県代協における現状と課題は下記の通り報告がなされた

1. 長野代協

現状:7月保険会社7社の支店長と懇談を実施し意見交換を行った。

7月一斉委員会を開催し、会長オリエンテーションを実施。

(テーマ:「日本代協とは」「政治連盟とは」)

課題:会費の見直し(年度内にシュミレーションを行い、方向性を確定)

支部活動の活性化

2. 新潟代協

現状:各種規定の見直しを正副会長で提案し、理事会に諮る方法で進行。

事業活動において利益相反の恐れがあった為、対策を検討。

10月10日、損保協会との共催による防災セミナーの開催に向け対応中。

課題:仲間づくり・・・退会が増加しているが、新規入会が進んでいない。

3. 群馬代協

現状:各支部で公開セミナー桐生第一高への自転車交通安全セミナーを開催。

防災士資格の取得支援を継続。

2026年度の総会の進め方について振り返り、また、外部監事を設置し、定款の漏れがあり臨時総会を開催し、無事終了。

課題：仲間づくり…今年度は苦戦が予想され、代理店合併による退会が多い。

会費改定等を含めた代協運営について早期協議が必要。

提携事業の一つである携帯電話の斡旋事業から撤退。

各委員会における現状と課題については下記の通り報告がなされた。

1. 組織委員会

現状：仲間づくり推進。各県目標（長野6、新潟6、群馬7）

代理店賠償オンラインセミナーを開催。（登録者176名）

正会員実態調査を実施予定。（回答率70%を目指す）

課題：自販連、整備振興会、モータース系クラブへの加入促進。

2年後2万店、5年後5万店の会員数目標。

2. 企画環境委員会

現状：不公正募集案件が新潟、長野で4件報告、日本代協へ提出済。

（詳細情報を求められるので、可能な限り細かな情報収取を。）

代理店の価値向上策について日本代協と連携し検討中。

課題：代理店の価値向上策の具体化と情報共有。

3. 教育委員会

現状：コンサルティングコースの運営と受講者募集。（ブロック目標48名）

募集ツールを電子データ化。

日本代協アカデミーの後継支援策を構築中。

課題：教育プラットフォームの整備と全会員への情報周知。

4. CSR委員会

現状：ぼうさい探検隊、無保険車追放運動、地震保険普及など統一活動を実施。

各県で清掃活動、交通安全運動、AED講習、献血活動など多様な社会貢献活動を実施。

課題：ぼうさい探検隊の活動を行政と連携し、地域課題の改善につなげる事。

その他：利益相反管理について

各県代協が行っている各提携事業について、利益相反に該当する恐れがあるのかどうか議論が行われた。規定等を作成しておけば該当する恐れは低いと考える意見と、かなり緻密に管理しないと、該当する恐れが高いとの意見があった。

近日中に、各県代協会長宛に、日本代協より詳細な回答が行われるとの事であった。

なお、次回の第3回上信越ブロック協議会は、12月17日（木）、Zoomにて開催される事となった。

以上

2026年度上半期決算について

主な勘定科目別では下記のとおりです。(単位 千円)

勘定科目	年間 予算	上半 期 実績	執行率 (%)	備考	昨年度 実績	執行率 (%)
収入						
提携事業収入	2,600	1,045	40.2	昨年度の予算 2,500	1,071	42.9
事業支入計	10,859	9,371	86.3	昨年度の予算 10,241	9,596	93.7
支出						
提携事業 支払手数料	600	90	15.1	昨年度の予算 1,000	211	30.2
会議費	1,500	341	22.8	予算は、対昨年度と同額	386	25.8
通信運搬費	700	319	45.7	昨年度の予算 400	137	34.3
交通費	1,100	451	41.0	昨年度の予算 1,000 理事交通費は上半期支払済	668	66.8
支払手数料	750	435	58.0	昨年度の予算 1,000	417	41.8
日本代協 負担金	2,000	0	0	下半期に支払い 現在会員数 201	0	0
総会費	500	372	74.5	昨年度の予算 2,450 70 周年予算と合計	2,273	92.0
広告費	600	276	46.0	予算は、対昨年度と同額	138	34.7
事業支出計	11,988	4,169	34.8	昨年度予算 13,374	5,906	44.2
事業支出 対昨年度		-1,737	9.4			

○負担金（含む政連）約 2,392 千円を考慮した場合の執行率は、54.7%となる。

○昨年度は 70 周年があったため今年度は対昨年度で総会費は実績で約 1,901 千円マイナス
全体の支出の執行率は 70 周年を除くとほぼ同じ

○UTMの支払い 10 月 690 千円 固定資産

○ホームページ更新料 10 月支払い 327 千円 通信運搬費

「利益相反管理」に関するご照会について

ご照会のありました、自己点検チェックシートにおける「利益相反管理」と、当会が実施する DRP 社及び JCM 社との提携事業との関係について、下記のとおり回答します。

今回のご照会は、自己点検の本格実施に伴い、会員代理店において、従来から実施してきた提携先への紹介及び紹介料の受領について、「利益相反のおそれがある行為」に該当するのではないかと懸念が生じていることを背景としたものと認識しております。

当会としても、今回のご懸念は、自己点検を実施する代理店にとって重要な問題であると受け止めております。

1. 当会の提携事業について

当会では、これまで DRP 社及び JCM 社と連携し、会員代理店を通じて、事故車等の修理及び車両売却に関するサービスを顧客に案内・紹介する事業を実施してまいりました。

これらの提携事業については、2024 年度においても、それぞれの事業内容及び運営方法等について確認を行い、顧客に不利益を生じさせるものではないとの整理を行っています。今回、改めて両社に対し、2024 年度当時の整理から現在までの事業内容、運営方法等についての変更有無を確認しました。

その結果、DRP 社からは、顧客の不利益につながらないという基本的な考え方について変更がないとの説明を受けるとともに、各都道府県代協との協定書に基づく事業の実施状況及び紹介案件の管理、紹介料の支払い実務等について説明を受けました。

JCM 社からも、2024 年度当時のビジネスモデル及び社内評価制度等について、特段の変更や現状における課題はなく、紹介手数料を販売促進費の一部として位置付け、個々の車両の買取価格や査定担当者の評価に影響させないとの従来の考え方についても変更がないとの説明を受けています。

2. 「紹介料を受領すること」と利益相反管理について

今回のご照会において最も重要な点と認識しております。

当会としては、DRP 社、JCM 社等の提携先を顧客に紹介し、そのことにより代理店が紹介料等を受領すること自体をもって、直ちに禁止される取引であるとは考えていません。

一方で、代理店が顧客を特定の事業者へ紹介することによって、代理店自身に紹介料等の経済的利益が生じる場合には、その経済的利益が顧客に対する紹介・推奨の判断に影響を及ぼす可能性がないかという観点から、利益相反のおそれについて適切に管理することが重要と考えています。

したがって、「利益相反のおそれがある取引であること」と「その取引自体が禁止されること」は、同義ではありません。

重要なのは、紹介料を受領することによって、顧客の意向に反した紹介や、顧客にとって不利益となるような過度な誘導が行われない態勢を確保することであると考えます。

3. 代理店における具体的な留意事項について

代理店においては、DRP 社、JCM 社等の提携先を顧客に紹介する場合、例えば以下のよう
な点について、自社事業内容及び取引実態に応じて確認・管理することが重要と考えます。

(1) 顧客の意向を踏まえた紹介であること

事故車の修理や車両の売却等について、顧客が何を希望しているのかを確認したうえで紹介すること。

(2) 顧客の選択を不当に制限しないこと

提携先であることや紹介料を受領できることを理由として、顧客に特定の事業者を過度に誘導することがないようにすること。

(3) 紹介料の受領が紹介判断を歪めないこと

紹介料を受領することを目的として、顧客にとって必ずしも必要性・合理性のないサービスを推奨することがないようにすること。

(4) 自社が修理業等を兼業している場合

自社又は自社グループが修理業等を営んでいる場合には、代理店自身の利益との関係について、より慎重に利益相反のおそれを確認・管理すること。

したがって、各代理店においては、「日本代協の提携事業だから問題ない」と一律に判断するのではなく、自社における実際の紹介方法、紹介料の受領状況、兼業状況等を踏まえて、必要な管理を行うことが重要と考えます。

4. 自己点検チェックシートへの対応について

今回の自己点検チェックシートにおける「利益相反管理」の項目については、当会の提携事業を利用していることのみをもって、直ちに「不適切な取引」と判断するものではないと考えます。

一方、代理店が提携先への紹介によって紹介料等を受領している場合には、自社に利益相反のおそれがある取引が存在するか、その場合にどのような管理を行っているかを確認することが必要と考えます。

したがって、自己点検においては、「日本代協の提携事業を利用しているので問題なし」という整理ではなく、「紹介料を受領する取引によって生じ得る利益相反のおそれを認識し、顧客の意向・選択を尊重するための適切な管理を行っているか」という観点から、自社の実態に応じて確認することが望ましいと考えます。

5. DRP 社と JCM 社について

なお、DRP 社と JCM 社は、それぞれ事業内容及び紹介の仕組みが異なるため、利益相反のおそれについても一律に捉えるのではなく、それぞれの事業実態を踏まえて考える必要があります。

DRP 社については、事故車等の修理に関するサービスを提供しており、紹介案件について工賃・修理費等に応じた紹介料が支払われる仕組みとなっています。現在も、紹介案件ごとの内容及び紹介料を明細化したうえで支払いが行われていることを確認しております。JCM 社については、車両買取に関するサービスを提供しており、紹介手数料については販売促進費の一部として位置付け、個々の車両の買取価格や査定担当者の評価に影響させないとの説明を受けております。

このように、それぞれの事業構造を踏まえたうえで、顧客の利益を損なうことがないよう適切に管理することが重要と考えます。

以上、回答申し上げます。

2026 年 9 月 17 日

日本損害保険代理業協会 事務局

	事業計画	上半期末取組実態
北信	仲間づくり活動 損害保険大学課程受講者募集推進 (代協アカデミー登録推進・利用促進) ぼうさい探検隊の普及推進 東北信合同セミナーの開催	・ 5/13 第1回理事会開催 ・ 8/2 第2回理事会開催 ・ 10/2 第3回理事会開催 ・ 10/1 (株)ゆたかくらぶ様入会 ・ 1/15 東北信合同セミナー
	社会貢献および代協PR活動 会員相互の交流	・ 8/4 啓発用ウェットティッシュの配布 (6名) ・ 8/7 献血活動および暑気払い (献血6名・暑気払い16名) ・ 9/30 無保険車追放キャンペーン (13名) ・ 10/14 現場カススキルアップセミナー
東信	ぼうさい探検隊 ボランティア活動	・ ぼうさい探検隊1件活動を終えていて、あともう1件活動予定。 ・ 10月24日 (土) に千曲川クリーンウォーク開催。 ・ 損保ジャパンと開催予定の【防災ジャパンだ】は、イベント参加を依頼させてもらっているが、主催者側と話がつかず未だ開催できていない。 ・ 【車両損害体験】ワークショップを11月6日 (金) に開催。
	支部独自取組	
中信	ぼうさい探検隊 仲間づくり活動 コンサルティング受講者募集 一般会員への対応	・ 7月30日 第5回役員会 (10名) ・ 8月3日 ぼうさい探検隊 堀金児童クラブ (安曇野市) にて実施 (児童12名・役員6名) ・ 9月10日 第6回役員会 (8名) ・ 9月18日 秋の全国交通安全運動出陣式・街頭啓発活動 (9名) ・ 10月8日 第7回役員会
	支部独自取組 セミナー CSR活動 HPへの新規投稿	・ 8月29日 市民タイムス「災害に強いまつづくり特集」へ協賛広告 ・ 9月1日 エフエムまつもと「防災減災キャンペーン」スポットCM (3本/月) ・ ホームページへ役員会議事録等掲載
諏訪	新規入会会員 ぼうさい探検隊	・ 新規入会会員 1 店 (7/14現在) ・ ぼうさい探検隊 (11/14予定)
	支部独自取組 セミナー CSR活動 HPへの新規投稿	・ 会報作成 支部会員へ一斉メールとHPへ投稿 (不定期、目的は役員会やCSR活動内容を会員に知ってもらう為) ・ セミナー 2/13開催で調整中 (例年、中信支部と合同で行っている、内容、場所未定) ・ CSR活動 春の交通安全運動4/6参加、夏の交通安全運動7/13実施、献血活動7/28実施 (22名参加、21名献血)、秋の交通安全運動10/18実施 (参加4名) ・ HPへの新規投稿 各種活動報告 ・ 地震保険啓発キャンペーン (10/21予定 綿半諏訪店) ・ 11月新聞広告掲載 (長野日報、市民新聞) 掲載日は未定
伊那	仲間づくり取り組み ぼうさい探検隊募集 提携事業者との連携 ホームページの活用	- 第2回役員会 7月16日 (木) 2027年度長野代協定時総会について - 第3回役員会 9月4日 (金) どんぐり祭り準備 長野代協定時総会について - 第4回役員会 9月15日 (火) どんぐり祭り準備 長野代協定時総会について 9月19日 (土) どんぐり祭りボランティア参加 お魚釣りゲーム1回100円・手作りコマとティッシュの配布 慰労会
	来年5月20日 (木) 長野代協定時総会の早め早めの準備 会員数減の対応 支部の活性化と独自の取り組み	伊那飯田支部合同セミナーを11月中に損保ジャパン南信支社 (伊那) で開催 内容: 車両損害体験や自然災害による事例 (特に多かった落雷事故) や時価額で付保している場合の支払いについて CSR活動として献血を損保ジャパンにて参加協力
飯田	役員会 (9月11日)	飯田支部参加者 5名 協議内容 ・ 各委員会の活動報告と各種連絡事項 ・ 伊那飯田合同セミナー (2026年秋の開催予定連絡) ・ 救命救急講習会 (開催日程等の予定確認) ・ ぼうさい探検隊 (実施予定等の確認)

	事業計画	上半期末取組実態
組織	・仲間づくり（目標：6店） ・代理店賠償加入推進 ・正会員実態調査（目標：回収率70%以上）	◎仲間づくり現状 （入会）北信1店・東信0店・中信1店・諏訪1店・伊那0店・飯田1店（合計4店） （退会）北信0店・東信0店・中信1店・諏訪0店・伊那1店・飯田2店（合計4店） ◎保険会社支店長訪問（入会見込み代理店紹介依頼、代賠セミナー開催案内） ◎代理店賠償セミナー実施（損保協会後援）登録者数176名 ◎野元氏セミナーハイブリット配信を計画中（東北信合同セミナーで共催） ◎会員連絡用メールアドレス確認
教育	2026年度コンサルティングコース立会	前期8月4日と9月29日終了。後期12月9日と1月26日
	2027年4月開講コンサルティングコース受講者目標	長野は目標16名昨年と同じ。今年は2500名到達で受付終了。チラシ・ポスター・案内は今年から紙はなくなるので、必要に応じてデータを印刷してください。
	日本代協アカデミー	2027年3月31日をもって終了。FAQはポータルサイトにのせてある。後継支援策として教育プラットフォームを構築中。今後は会員ならば無料で活用できるものを構築していく方向で動いている。
総務 広報	各支部の事業および委員会議事録、セミナー等のトピックスを長野代協HPへ掲載する。	ホームページに各支部・各委員会・総会等の活動を掲載し情報発信を行った。引き続き情報発信を行っていく。
	長野代協HPの運用ルール見直し	セキュリティ強化の為、アクセス権限等の運用ルールの見直しを行った。
	長野代協HP WordPressの脆弱性	8月に最新バージョンアップ対応済み。
	長野代協パンフレットのリニューアル	確定しているレイアウトに対し最新の素材を集め完成を目指す。 第3回理事会位までには
	グループウェア（Microsoft Teams）の積極的な活用	活用実績を再確認し、使用方法等を改めて理解してもらう。 HP保守会社とも連携していく。
	長野代協シニア会	特になし
企画 環境	リスクマネジメント講座の推進	9月14日 第3回企画環境委員会
	事業計画認定取得推進	9月25日 上信越ブロック協議会
	社労士診断認証制度の認証取得	
	JSA-1003保険代理店サービス品質管理	
	不公正募集の情報収集と管理	
CSR	ぼうさい探検隊募集活動	11月20日（必着）までに各支部1団体以上を目標に取組む。 中信、東信提出済み。10月・伊那、11月・北信・東信・諏訪予定。
	防災減災の取組み	ハザードマップ・マイタイムラインの周知
	・無保険車追放運動 ・地震保険普及運動	・9月30日（北信支部） ・10月21日（諏訪支部）
	子ども110番の保険代理店の推進	メールにて一斉配信。
	・各支部での取組み ・SDG 2 宣言	清掃活動、交通安全運動運動、献血活動、地域交流、エコキャップ回収
事業 見直し	全会員参加型の組織体制の構築	7/23 第4回事業見直し委員会（サンプロアルウィン 6名） 9/14 第5回事業見直し委員会（WEB 5名）
	新規提携事業の構築	利益相反について確認→日本代協の見解を踏まえ、長野代協としての規程を作成 会員に日本代協の見解及び長野代協の規程を周知を実施予定
	長野代協表彰規程の策定	表彰規程（案）・会長経験者・ブロック委員長経験者・理事5期10年以上 ・支部役員30年以上等
		・支部総会の在り方について検討中

2026年度東北信合同セミナー事業計画書

■開催日時 : 2027年1月15日(金) 16:00より

■開催場所 : ・ホテル信濃路 HOTEL SHINANOJI
長野市中御所岡田町131-4

■講師 : 野元 敏昭 氏
(日本創倫株式会社 にっぽんそうりんかぶしがいいしゃ)

■セミナー内容 未定

テーマ「 未定 ※確認中 」

■参加者数 : 参加者50名見込(北信25名、東信15名、保険会社等10名)

■参加費 : 【セミナー】無料 【懇親会費】6,500円

■申込方法: 二次元コードからの申込

■日 程 : 15:00 集合・準備開始
15:30 受付開始
16:00 セミナー開始
18:00 セミナー終了
18:30 懇親会
20:30 終了

■予 算

収 入 (円)		支 出 (円)	
北信支部	120,000	会場費	100,000
東信支部	50,000	懇親会費	260,000
会費 (@6,500×40名)	260,000	その他 (講師手土産など)	70,000
長野代協	70,000	講師代(宿泊・交通費含む)	70,000
合計	500,000	合計	500,000

■役割分担

受付	馬場委員長、大久保副委員長		
〈セミナー〉		〈懇親会〉	
司会・開会	竹内副支部長	司会・開会	久保副委員長
支部長挨拶	湯本北信支部長	乾杯	中澤長野代協会長
講師紹介	竹内副支部長	中締め	保険会社 or シニア会の方（予定）
謝辞	深井東信支部長	閉会	上林顧問
閉会	松田副委員長		

■事前準備

開催案内（12月15日までに） 会員：メール【湯本】、保険会社：案内文持参【各担当者】、プロジェクター（含む接続コード）・スクリーン【会場へ手配、PCは講師持参】バナー「一般社団法人長野県損害保険代理業協会 東北信合同セミナー」【湯本】 資料印刷●部（参加者数によって）【湯本】、講師手土産【上林顧問】、領収証作成【竹内副支部長】、代協旗【湯本】
※PC、プロジェクター、スクリーンの設備および資料印刷については講師へ確認中

▶ 野元 敏昭 [日本創倫株式会社 / 顧問 (Senior Adviser)]



<プロフィール>

福岡県出身。九州大学法学部卒後、1978年東京海上（現・東京海上日動）入社。

代理店部募集制度課長、CS・販売制度業務部企画グループリーダー、経営企画部企画グループ課長、営業推進部次長、同部長等を経て、2005年高松支店長に就任

2009年1月日本損害保険代理業協会 出向、同6月専務理事に就任、2022年6月同協会退職

2022年8月、日本創倫株式会社顧問に就任

2023年9月、日本保険代理業認定協会（JIACA）代表副理事に就任、翌年7月専務理事に就任、現在に至る。

アイエスネットワークメールマガジン「コンパスを見つけよう」を毎月執筆、また、自社の無料メールマガジンを毎月執筆。ほか保険会社社員や代理店を対象とした講演や経営支援活動を行っている。

2026 年度伊那・飯田合同セミナー事業計画書

○開催日時 2026 年 11 月 27 日（金）15：00～

○開催場所 損保ジャパン南信支社 1 階会議室

○講師 株式会社はなまる 橋爪 和也 氏
損害保険ジャパン株式会社 松本火新種センター

○セミナー内容 「車両損害体験」

○参加者数 参加者見込み（会員 20 名、保険会社等 5 名）

○参加費 無料

○日程 14：30 集合・準備開始
14：45 受付開始
15：00 セミナー開始
17：00 閉会

○予算 現時点で費用負担なし（講師のお礼については懇親会費用負担などで検討）

幹事会各位

企画環境 角野貴弘

事業継続力強化（ジギョケイ）策定セミナー・ワークショップ開催の件

目的

- ・ 自然災害への備えや BCP に対する必要性を再認識していただく
- ・ 事業継続力強化計画を完成までもっていく

対象

- ・ 長野代協会委員のうち、ジギョケイ申請がまだの方、継続申請の方

内容

- ・ 第一部 自然災害・防災に関するセミナー（30 分程度）
- ・ 第二部 策定ワークショップ（90 分程度）
（予め G ビズ ID を用意していただき、その場で申請まで）

※講師派遣・資料提供・進行は三井住友海上あいおい生命(株)

日程

月 日()～ 日()の間の 1 日、午後

場所

あいおいニッセイ同和損保 長野支店・松本支社会議室の 2 か所
（リモートで繋ぎ、セミナーは同時開催、ワークショップは
各会場ごとに 2 社の社員にてフォローいただく）

費用

講師費用、会場費用は不要

2027年度定時総会開催計画（案）

1. 場所 : JAフラワーパレス
長野県伊那市狐島4291
TEL 0265-76-3056
2. 日時 : 2027年5月20日（木）
タイムスケジュール
10:30～12:30 伊那支部会場準備、受付準備、昼食
12:00～ 理事会メンバー集合 昼食、理事会
13:00～ 受付
13:30～15:45 総会
(休憩15分)
16:00～17:45 講演 演題
講師
18:00～20:00 懇親会
3. 参加予定者 70名（会員50名 来賓・賛助会員他20名）
4. 講演会講師 未定
5. 司会 山本道代アナウンサー（総会、講演会）

当日の流れ

〈総会〉

- | | | |
|-------|--------|------------------------------|
| 10:30 | 伊那支部集合 | 責任者：唐澤支部長 |
| | 会場準備 | — タイトル看板・代協旗・国旗・プロジェクター・マイク・ |
| | 受付準備 | — 参加者名簿・領収証・ネーム・配布資料 |
| 12:00 | 理事会 | 昼食食べながら（会場にて準備） |
| 13:00 | 総会受付開始 | 伊那支部 |
| 13:30 | 総会開始 | |
| | 司会者挨拶 | —— <u>山本道代</u> |
| | 開会宣言 | —— <u>副会長</u> |
| | 会長挨拶 | <u>中澤会長</u> |

	来賓挨拶	数名	様 様
	賛助会員他紹介		副会長
	祝電披露		副会長
	議長選出	(会長指名)	副会長
	総会成立宣言	(議長指名)	常務理事
	議事録作成人	(議長指名)	副会長
	議事録署名人	(議長氏名)	支部長 委員長
	議事進行 (途中休憩入れて)		
	議長退任挨拶		
	監事講評		監事
15:20	閉会宣言		副会長
	〈功労者、表彰〉		中澤会長
	〈新入会員紹介〉		山口副会長
	(休憩 15 分)		
	〈講演会		
	司会進行		山本道代
	開会の言葉		副会長

講師紹介	_____ 支部長
記念講演	_____
	_____ 様
謝辞	_____ 監事
17:45 閉会の言葉	_____ 副支部長
〈懇親会〉	
18:00~20:00	
司会進行	(伊那支部)
会長挨拶	中澤会長
乾杯	(_____)
中締め	_____

2027年度定時総会 予算書（案）

収入		支出	
県代協予算	400,000	講師費用	100,000
当日集金会費		会場費	80,000
会員		看板・プロジェクター	11,000
50名×@5,000	250,000	司会費	15,000
会員以外		表彰費	10,000
20名×@6,000	120,000	事務費	50,000
(懇親会代、宿泊は個人精算)		懇親会費	
		70名×@6,550	458,500
		(2時間飲み放題)	
		予備費	45,500
合計	770,000		770,000

宿泊代は個人精算だが手配はする。

○懇親会費用 6,550 円（飲み放題）
 （いずれも、消費税・会議会場費も含む）

○宿泊費（シングル朝食？） 円

○会員代理店 1 人当たり 1,550 円補助（懇親会費）

〈参加人数見込み〉	北信支部	5 名
	中信支部	10 名
	東信支部	5 名
	諏訪支部	10 名
	伊那支部	10 名
	飯田支部	10 名
	正会員以外	20 名（来賓、賛助会員 他）



自分の未来に欲張りになることは人生を楽しむ秘訣。「あなたの理想の未来は？」という聞かれたら、具体的に答えられる人は素敵。ストレスや不安というマイナスばかり気にしていても仕方ない。

マイナス部分の改善や未然に防ぐこと、自分の未来を自分の描く通りに創ることは、少しの学びと実践、そして思考力とセルフメンタルコントロール術を身に付けるだけで日常に変化を感じながら描く未来に近づいていく。

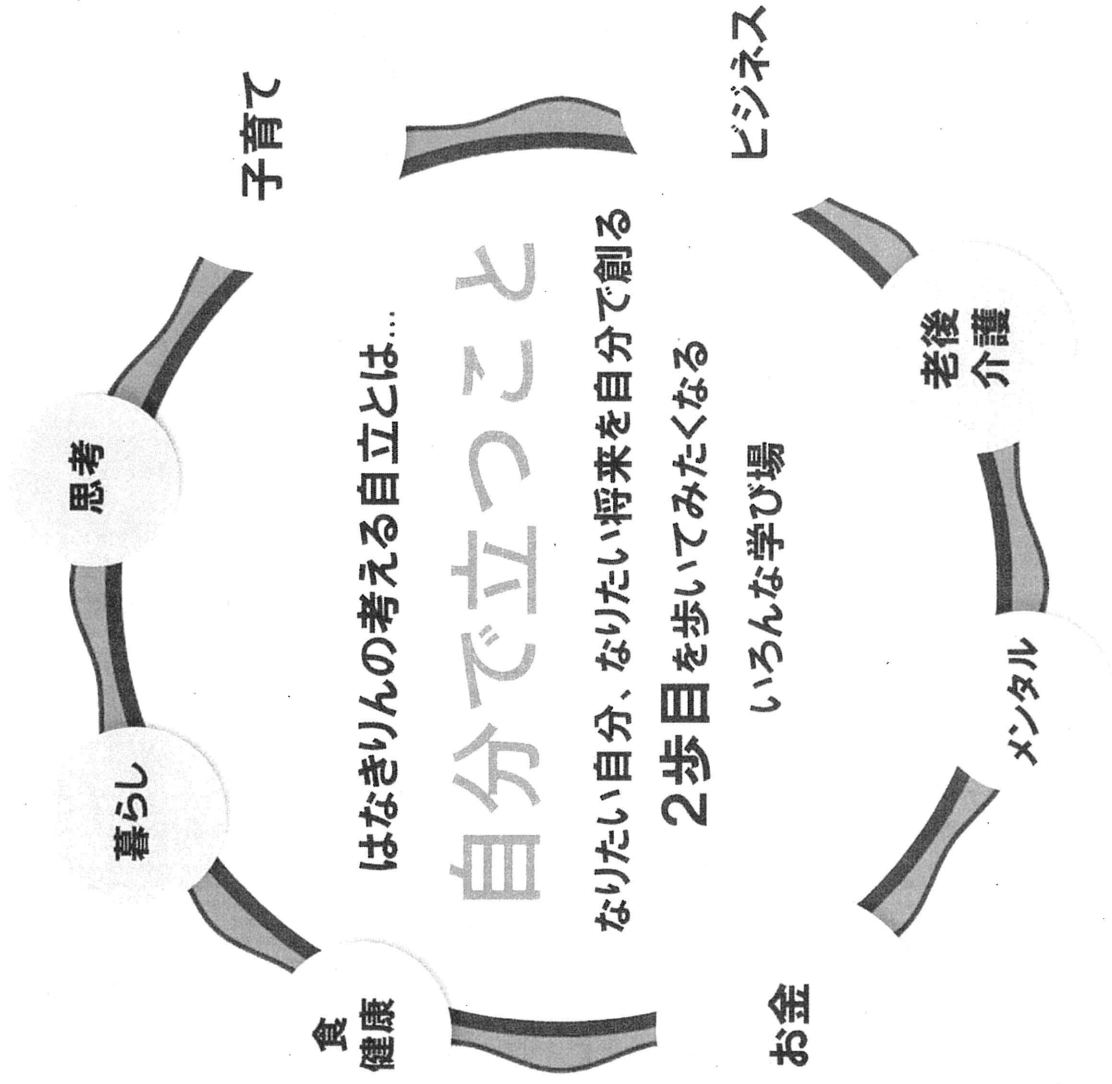
誰もが充実した「自分人生」を生きるために役立つ「学び場」を提供したいのが私の想いでもあり当会の存在意義です。

多くの人に活用してほしい。

はなきりん代表理事 大田麻美

Member

理事・監事ご紹介



子育て	お金
ビジネス	メンタル
思考	老後・介護
暮らし	食・健康

親の役割ってなあ〜に？

子どもの心を鍛える3つのトレーニング法

創造力は子どもに必要な生きるチカラ

仕事についての家庭教育

不登校と引きこもりの違いと対処法

子育て女性の働き方とキャリア形成

就活までに子どもに備えておくべき情報

家庭内「性教育」

Activity

活動内容

「学び場」の企画・制作・提供

Web・メールマガジン・情報誌・SNSでの情報発信

子どもや学生が社会で自立的に生き抜くための学習プログラムの提供

企業、団体へのコンサルティングを含むビジネスサポート

教育機関、企業や自治体と協働しながら就職活動、キャリアアップ、転職などの
仕事支援活動

団体が持つ各種計画づくりや診断・相談対応・サービスの提供

無料相談窓口の運営

「お金の学校」「不動産の学校」他各種学校の運営

イベント企画・開催・運営

はなきりんの普及活動

はなきりんとは

理念・ミッション



自立して暮らしていくための参加型「学び場」コミュニティの創造

活動名となった「はなきりん」は植物の名前。その花言葉は「自立」です。私たちは、暮らしを通して将来の幸せを「自立的」に実現するために日本が抱えるさまざまな社会問題にフォーカスした「学び場」を提供。全国の応援協力会員と各地の企業、団体、自治体、教育機関と協働しながら子どもから大人までが参加できる各種「学び場」を通して地域コミュニティづくり活動を行っています。それが「はなきりん」の理念でありミッションです。

学び場8つの Theme テーマ

人生を楽しむため

自分の未来を創造するため

知っておいた方がいいこと

8つのテーマに分け
それぞれのテーマに沿って
「学び場」提供しています

どの学び場でも

すぐやってみたくなるヒントを

盛り込んでお届けしています。

令和8年度信州地震等災害保険・共済加入促進協議会 総会報告

常務理事 駒津 政伯

1. はじめに

本報告書は、令和 8 年 7 月 13 日に開催された「信州地震等災害保険・共済加入促進協議会」総会の内容ならびに令和 7 年度の事業報告・決算、令和 8 年度の事業計画、アンケート調査結果等を取りまとめたものです。

2. 総会の概要

日時	令和 8 年 7 月 13 日(月)15:00～
場所	長野県庁西庁舎 3 階 災害対策本部室
出席者	日本損害保険協会関東支部長野損保会、全国労働者共済生活協同組合連合会長野推進本部、全国共済農業協同組合連合会長野県本部、長野県損害保険代理業協会、長野県農業共済組合、生活協同組合コープながの、長野県危機管理部 ほか

3. 令和 7 年度 事業報告・決算

事業実績

- ・ 協議会会議の開催(8 月 25 日)
- ・ 新聞広告掲載(信濃毎日新聞、10 月 19 日)
- ・ YouTube 動画広告(12 月 15 日～1 月 12 日、視聴回数約 80 万回)
- ・ リーフレットの更新
- ・ 日本損害保険協会関東支部主催セミナーへの共催(12 月 20 日、参加者 98 名)
- ・ ラジオスポット広告、県広報番組、FM 長野ラジオ出演

決算概要

区分	金額・内容
収入合計	1,471,822 円(主に会員負担金)
支出合計	1,471,360 円(広告費、啓発物製作費、ノベルティ購入費等)
差引残高	462 円

会計監査	適正に処理されていることを確認
------	-----------------

4. 令和 8 年度 事業計画(案)

区分	事業内容	予算
必須事業	YouTube 広告	572,000 円
	ランディングページ(LP)制作(新規)	165,000 円
	市町村広報への掲載	16,500 円
選択事業	Google 広告(東信地方限定)	462,000 円
	地域タブロイド紙「週刊うえだ」広告(上田市周辺)	242,000 円
共催事業	日本損害保険協会関東支部主催セミナーへの共催	41,150 円
県広報事業	ラジオスポット広告の実施	—

予算総額:1,500,432 円(前年より約 28,000 円増)

5. アンケート調査結果

2026 年度に上田市、小諸市、佐久市を対象として実施した調査の主な結果は、次のとおりです。

- 地震保険付帯率は県平均 71.0%である一方、東信地域は 50%台にとどまっています。
- 災害リスクを「ハザードマップで確認して把握している」人は 37.5%でした。
- 地震保険の補償内容の認知率は 71.2%、噴火リスクの認知率は 48.3%でした。
- 地震保険に加入していない理由は「保険料が高い」が最多で、54.5%でした。
- 補助金制度がある場合、「50%の補助で加入する」と回答した人が約半数を占めました。
- 年間の災害対策費は「1 万円未満」が約半数でした。

6. 令和 8 年度の重点施策・課題

- 東信地域(上田市・小諸市・佐久市)の付帯率向上を最重要課題と位置付け、重点的な広報・啓発を実施します。
- 若年層や賃貸住宅居住者に対し、賃貸住宅でも家財保険に加入できることや補償区分について、正しい情報を提供します。
- デジタル媒体(YouTube、Google 広告、LP)と紙媒体(タブロイド紙、市町村広報)を併用し、幅広い世代にアプローチします。

- 信州防災アプリや AR 災害疑似体験機器を活用し、防災意識の向上を図ります。
- 負担金の徴収方法を改善し、事業費の迅速な支払いと年度末精算を実施します。

7. 今後の展望

- 2026 年度は、付帯率の低い上田市で防災セミナーを開催する予定です。
- 地震・風水害・火山災害への備えとして「自助」の重要性を啓発し、保険・共済への加入促進を図ります。
- アンケート調査を継続し、施策の効果測定と改善に活用します。

※詳細資料は長野代協Teams(2026 幹事会)へ添付

令和8年度長野県自転車活用推進計画ネットワーク会議報告

副会長 高木 守

標題の件について、下記の通り報告いたします。

1. 日時 : 令和8年8月28日(金)午前10時30分から正午
2. 場所 : 長野県庁 議会棟第一特別会議室(集合形式)と WEB 形式による
ハイブリッド形式。WEB 方式で参加
3. 会議内容
 - (1) 令和 7 年度における自転車関連施策の実施状況について
 - 4項目①安全・安心 ②利用環境整備 ③健康増進・環境負荷の低減 ④観光振興
 - ・ 安全・安心については5施策を実施
 - A 学校・事業所における交通安全教育の推進
 - B 自転車通行ルールを守る県民意識の高揚
 - C 安全性の高い自転車の普及促進
 - D 災害時における自転車活用の推進
 - E 自転車損害賠償保険等への加入促進
 - ・ E の自転車損害賠償保険等への加入促進について
 自転車損害賠償保険等への加入率(令和7年11月実施の県政アンケートより)
 加入している63.7%(令和6年度58.5%)
 加入していない26.5%(令和6年度33.2%)
 わからない9.8%(令和6年度8.3%)
 令和6年度よりも加入率が増加している。
 - ・ 県内損害賠償保険等取扱事業者と連携し、保険加入しやすい環境整備のために、自転車損害賠償保険等に関する長野県ホームページ掲載要綱により、損害賠償保険等取扱事業者を募り、県公式ホームページで事業者を紹介している。
 - ・ 令和7年の県内自転車事故発生件数は524件 前年比－61件
 (令和6年度585件 令和5年度615件 令和4年度532件 令和3年度626件)
 数値目標として令和9年には自転車事故件数470件(令和8年目標値509件)
 - (2) 会議内での意見交換内容
 - ・ 県内の事業所では自転車の安全啓発活動が少ない。県では事業者への指導案内なし。
 - ・ レンタサイクル店で外国人旅行者向けの交通ルールチラシ配布の取り組み事例。
 - ・ ヘルメットの着用率 UP について。令和5年、6年度は各自治体へ補助金だしていたが現在は出していない。
 - ・ 自転車事故のうち約7割のケースで自転車側に左側通行を行わない等の違反が見られた。自転車運転者の安全意識の醸成、特に若年層における交通法規の理解とマナーの向上へのアプローチが大切。県警 HP 上に県警作成「自転車のルールブック」がある。



警察庁
National Police Agency

みんなで



警察庁推奨 詐欺の電話はアプリでブロック!

無料

特殊詐欺対策アプリ

※この画像もAIによる生成画像です。巧妙な手口にはご注意ください。

アプリの主な機能

01 国際電話をブロック

※国際電話の一括ブロックはAndroidのみ

02 詐欺電話をブロック

03 最新手口を把握

※スマートフォンの機種や搭載機能により利用できる機能が異なる場合があります。

＼ 今すぐダウンロード! ／



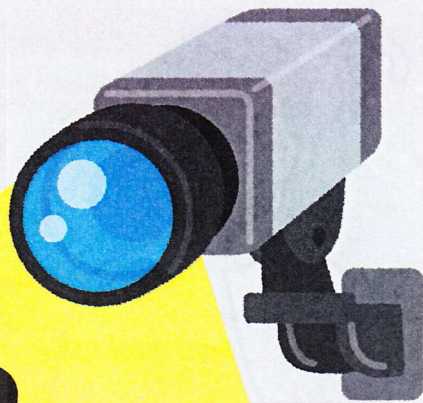
Google Play
で手に入れよう



App Store
からダウンロード

偽アプリにご注意ください。

その“見えない不安”、 見える化 しませんか？



店舗の裏口、見えないから不安…

防犯対策

最近盗難被害が多くて心配だ

駐車場で車上荒らし、どうしよう

事故やトラブルの証拠、
残しておきたい



遠隔で店舗の様子を見たい

従業員の入退室管理、面倒だな

業務管理

いくつかの拠点を一気に見れたら
楽なんだけどな

トラブル対策

社内ルール、守られてるかな？

● 導入済み ● 未導入

約4割の企業が
すでに導入！



犯罪抑止
効果 **大！**

防犯カメラの導入で
半径50m以内で**約20%**、
100m以内で**約10%**の
犯罪抑止効果が期待できるとされています。



企業の監視カメラ導入状況

防犯・盗難対策はNTT東日本情報機器特約店まで！



K25-04174 【2601-2701】



うちにぴったりの なのはどれ？

用途に合わせた防犯カメラを！



ボックス型

- ☐ 室内用のオーソドックスな防犯カメラ
- ☐ カメラだと一目でわかる形で抑止効果が高い
- ☐ 出入り口や駐車場におすすめ
- ☐ 死角が生まれやすいのがデメリット

バレット型

- ☐ レンズを保護するケースがついている
- ☐ 雨やほこりなどを防げる屋外向き
- ☐ 大小さまざまな柔軟に選べる



ドーム型

- ☐ 壁や天井にはりつけて利用
- ☐ 目立ちにくいため圧迫感が少ない
- ☐ 死角が少なく広範囲を撮影できる

設置後のアフターフォローもおまかせください

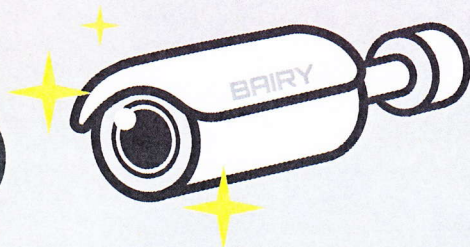
NTT
東日本



K25-04174 【2601-2701】

自動車系の場合

業種別!



設置場所のススメ

事故・盗難・イタズラの瞬間を逃さない
車をしっかり監視して守る

車置き場

バレット型カメラを屋外に設置

車置き場は夜間や休日に死角ができやすく、在庫車のいたずら・部品盗難などのリスクがあります。バレット型カメラを適切に配置することで、広い敷地の隅々までカバーし、不審者への警戒効果を高めます。

01. 車に傷をつけるなど、悪意あるイタズラの防止

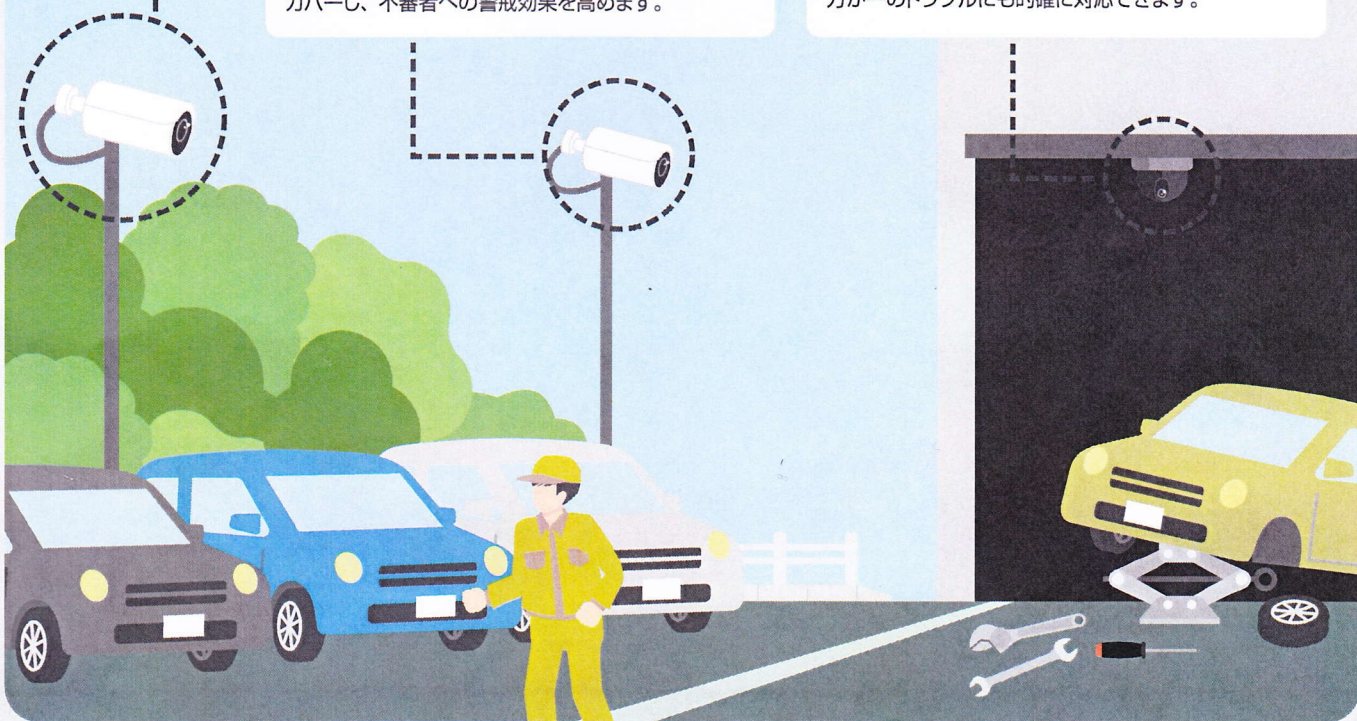
02. 威嚇効果で不審者の侵入、盗難を抑制

03. レジ・カウンターでのカスハラ対策に

整備室・メンテナンス場

屋内向けドーム型カメラ

お客様の車両を預かる整備室では、信頼を守るための監視体制が欠かせません。圧迫感の少ないドーム型カメラを採用することで、作業の様子をさりげなく記録し、万が一のトラブルにも的確に対応できます。



※カメラの性能は機種により異なります。

スマホ
から
簡単!

アプリから遠隔でモニタリング

スマートフォンやタブレット用の専用アプリを使えば、自宅はもちろん外出先からでも、いつでも映像を確認できます。



※カメラ設置場所とアプリをインストールしたデバイスの両方にインターネット接続環境が必要です。また、事前に機器の設定が必要になる場合があります。



(株)エフティコミュニケーションズ
松本営業所

〒390-0811

長野県松本市中央2-3-3 カタセビル3F

TEL:0263-31-6085 / FAX:0263-31-6086

今後の予定（～4月）

10月21日	水	地震保険普及キャンペーン（諏訪支部）
10月22日	木	2026 第2回理事会（web）
11月 6日	金	東信 車輻損害体験ワークショップ
11月27日	金	伊那飯田合同セミナー
12月17日	木	2026 第3回ブロック協議会（web）
1月14日	木	2026 第3回幹事会（事務局）
1月15日	金	東北信合同セミナー
1月29日	金	2026 第3回理事会（新年会？）
1月30日	土	長野県防災セミナー in 上田（15：00～17：00）サントミューゼ
2月13日？	土	中信諏訪合同セミナー
未定		ジギョケイセミナー
3月19日	金	2026 第4回ブロック協議会（web）
4月 2日	金	2026 第4回幹事会（事務局）
4月15日	木	2026 第4回理事会
4月16日	金	会計監査（事務局）

<日本代協>

11月13日～14日	金.土	日本代協コンベンション
12月 3日	木	第7回理事会
12月 4日	金	全国会長懇談会（web）
2月 5日	金	第8回理事会
3月11日	木	第9回理事会
3月12日	金	臨時総会 全国会長懇談会